在室管理システムパッケージ スタートアップマニュアル







ぷらっとホーム株式会社

目次

| パッケージ内容および付属品 | 3 |
|----------------------------------|----|
| はじめに | 4 |
| ご使用にあたって | 5 |
| 安全上のご注意 | 7 |
| 第1章 各機器の接続について | 11 |
| 1.接続全体図 | 11 |
| 2. 各機器の接続 | 13 |
| 1. IoT ゲートウェイと IoT 専用サーバーとの接続 | 13 |
| 2. IoT 専用サーバーと PC との接続 | 14 |
| 3. ワイヤレス在室検知センサーと IoT ゲートウェイとの接続 | 15 |
| 第2章 各機器の名称および設置について | 16 |
| 1. ワイヤレス在室検知センサー | 16 |
| 1.1. 各部の名称・設置について | 16 |
| 2. IoT 専用サーバー | 16 |
| 2.1. 各部の名称 | 16 |
| 2.2. 設置作業時のご注意 | 18 |
| 2.3. 電源取り扱い上のご注意 | 19 |
| 3. IoT ゲートウェイ | 20 |
| 3.1. 各部の名称 | 20 |
| 3.2. ステータスインジケーターの表示 | 21 |
| 3.3. 設置作業時のご注意 | 21 |
| 3.3. 電源取り扱い上のご注意 | 22 |
| 第3章 在室管理システムパッケージの使用 | 23 |
| 1. IoT 専用サーバーの電源を ON にする | 23 |
| 2. 可視化ツール「RealBoard」にアクセスする | 23 |
| 第4章 CSV エクスポート機能 | 26 |
| 第5章 製品マニュアルについて | 30 |
| 1.ワイヤレス在室検知センサー | 30 |
| 2.IoT 専用サーバー | 30 |
| 3.IoT ゲートウェイ | 31 |

| 製品保証について | 32 |
|-------------------|----|
| 本製品に関するお問い合わせ | 32 |
| OpenBlocks 使用許諾契約 | 34 |
| ソフトウェア使用許諾契約書 | 36 |

パッケージ内容および付属品

以下のパッケージ内容と各製品の付属品が全て揃っているか確認し、揃っていない場合は お買い求めの販売店にご連絡ください。このマニュアルは、導入時の基本的な接続・設置 に関して説明していますので、大切に保管してください。

■パッケージに含まれる製品

| IoT 専用サーバー OpenBlocks IDM RX1 | 1台 |
|-------------------------------|----|
| IoT ゲートウェイ OpenBlocks IoT EX1 | 1台 |
| ワイヤレス在室検知センサー CPI-J | 2台 |

※オプションで IoT ゲートウェイやワイヤレス在室検知センサーを追加した場合は追加した台数分の数量をご確認ください。

■各製品の付属品

IoT 専用サーバー OpenBlocks IDM RX1

| 本体 | 1台 |
|-------------------------|----|
| 電源ケーブル | 1本 |
| CONSOLE 用 microUSB ケーブル | 1本 |
| ネットワーク接続用ケーブル | 1本 |
| ケーブルクランプ | 1個 |
| ご使用にあたって | 1枚 |

IoT ゲートウェイ OpenBlocks IoT EX1

| 本体 | 1台 |
|-------------------------|----|
| 電源ケーブル | 1本 |
| CONSOLE 用 microUSB ケーブル | 1本 |
| AC アダプター | 1個 |
| EnOcean 通信用アンテナ | 1本 |
| ご使用にあたって | 1枚 |

ワイヤレス在室検知センサー CPI-J

| 本体 | 1台 |
|----------------------|----|
| 取付けプレート | 1個 |
| 固定ビス(呼び 3x30) | 2本 |
| リチウム電池(CR123A) ※装着済み | 1個 |

はじめに

● パッケージ概要

本パッケージは会議室や打ち合わせコーナー、オンライン会議ブースなどに人が在室しているか を検知して表示を行うシステムパッケージです。本パッケージは以下の3つのハードウェアで構 成されています。

◆ 在室検知センサー (オプテックス社製 CPI-J)
 ◆ 人が検知された際に信号を出す無線センサーです。



◆ IoT ゲートウェイ (ぷらっとホーム OpenBlocks IoT EX1)
 ◇ 無線センサーから出された信号を受信し、サーバーで
 読み取れるデータ形式に変換しサーバーへ送信します。



- ◆ 可視化ツール搭載 IoT 専用サーバー (ぷらっとホーム OpenBlocks IDM RX1)
 - ◇ IoT ゲートウェイから送信されたデータを受け取り、内部データベースに保存し、 搭載している可視化ソフトウェア「RealBoard」で表示を行います。





- ご使用にあたって必要なもの
 - 本パッケージー式
 - ・ LAN ケーブル (Ethernet ケーブル)※
 - 表示・設定用パソコン (WEB ブラウザを使用します) ※
 WEB ブラウザは 「Google Chrome」、「Firefox」及び「Safari」の最新バージョン をご使用ください。Internet Explorer では一切の操作が行えません。
 - ・ 無線または有線LANルーター(複数のPCで可視化ツールを見る場合)※
 ※お客様でご用意ください。

ご使用にあたって

■システムのご利用を始める前に

- 本パッケージで提供されるシステムは業務用システムです。ご利用については、コンピュ
 ーターやサーバー、及びネットワークに関する一定の知識が必要となります。
- IoT ゲートウェイ 「OpenBlocks IoT EX1」および IoT 専用サーバー「OpenBlocks IDM RX1」をご使用になるにあたって、本スタートアップガイド巻末に記載の「OpenBlocks 使 用許諾契約」に合意のうえご利用ください。
- 本パッケージは在室検知センサーや IoT ゲートウェイ、IoT 専用サーバーの接続設定がな された状態で出荷されています。ここでは出荷時状態での導入時の操作方法などをご説明 していますが、各製品のより詳しい使用方法については、各製品のホームページに掲載の マニュアルをご参照ください。

● 本製品の取り扱いについて

- ハードウェアの故障や誤操作によるデータやアプリケーションの破損については、保証 いたしかねます。
- 磁石やスピーカなどの強い磁気を発生するものを近づけると、システム装置および周辺 機器の故障の原因になります。
- ・ 煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前にビニールシートなどでシステム装置を完 全に包んでください。
- 静電気はシステム装置および周辺機器に悪影響を及ぼす場合があります。システム装置
 使用中のじゅうたんなどのご使用は静電気の発生しにくい材質のものをお選びください。
- •
- 定期的なバックアップ
- ・ IoT 専用サーバーに保存したデータは、CSV エクスポートするなど、定期的にバックア ップしてください。不慮の故障などで使用できなくなることもあります。
- IoT ゲートウェイ、および IoT 専用サーバーの終了方法について、システム装置の電源 を OFF するときは、必ずお使いのオペレーティングシステム(以下 OS)から正常終了 させてください。OS 動作中に電源を切った場合、作業中のデータが壊れたり、次回に 起動させたときに通常どおりに起動できないことがあります。

- コンピュータウィルスの予防
- ネットワークや USB メモリなどのメディアを介して、システム装置にコンピュータウィルス(以下ウィルス)が侵入することがあり得ますので、ウィルスの予防に努めてください。ウィルスによるデータの損失とそれに関わるすべての損失について、弊社は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

本システム装置を正しく安全にお使いいただくために以下を必ずお守りください。

・操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください

・マニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。

これらを怠ると、けが、火災や感電、装置の破損を引き起こすおそれがあります。

1. 設置、移設でのご注意

| ▲ 警告 | | 本システム装置の電源プラグはアース付きのコンセントなど、各製品指 |
|------|---|---------------------------------------|
| | | 定の電源に接続してください。指定の電源に接続しない場合、故障や火 |
| | | 災、漏電時による感電が発生する恐れがあります。 |
| | 0 | ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 |
| | | 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。 |
| | 0 | 電源ケーブルには、重いものをのせたり、熱器具を近づけたりしないで |
| | | ください。電源ケーブルの被膜が傷つき火災や感電の原因になります。 |
| | 0 | 通路に電源ケーブルや LAN ケーブルをはわせないでください。 人がつまず |
| | | くなど、けがの原因になります。 |
| | | 機器の接続、取り外しは、本書の指示にしたがって行ってください。誤 |
| | | った取り扱いをするとけが、火災や感電の原因になります。 |
| | 0 | 転倒のおそれがあります。縦置きでは使用しないでください。 |
| | 0 | 極端に高温、低温の場所、または温度変化が激しい場所では使用しない |
| | | でください。また湿度が極端に高い場所では使用しないでください。 |
| | | 室内温度が極端に暑い、もしくは寒い場合は、空調などを使用し室温が一 |
| | | 定になってからご使用ください。 |
| | 0 | 直射日光の当たる場所や、ストーブなど発熱する器具の近くでは使用しな |
| | | いでください。 |
| ▲ 注意 | 0 | 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気のあたる場所に置かないでくださ |
| | | い。火災や感電の原因になります。 |

| 0 | システム装置の通気孔をふさがないでください。火災の原因になります。 |
|---|---|
| | 風通しの良いところに、壁から通気孔は15cm以上離して設置してくださ |
| | しい。 |
| 0 | 磁石、外部スピーカなど、磁気を帯びたものを近づけないでください。 |
| | 記録装置のデータが壊れたりディスプレイ装置の色が乱れたり、画像が |
| | ゆれたりすることがあります。 |
| 0 | ゴム、ビニール製品などがシステム装置の塗装部分に接触したままになっ |
| | ていると、塗装がはげたり変色することがあります。特にシステム装置上 |
| | に物を置く場合に注意してください。 |
| 0 | 機器の上に、ディスプレイ装置など、重いものを載せないでください。 |
| | ものが落下したり、装置が転倒したりして、けがの原因になります。 |
| 0 | 長期間、機器をご使用にならない場合は、電源を切り電源プラグをコン |
| | セントから抜いてください。 |
| | 電源は必ず AC100V(50Hz または 50Hz)を使用してください。AC200V |
| | など、それ以外の電源を使用すると火災の原因になります。すぐに電源 |
| | プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでくださ |
| | しい。 |
| 0 | 瞬時停電が起こりやすい環境や電圧変動の激しい環境での使用は避け |
| | てください。 |
| | |

2. 本体内部の操作に関するご注意

| ▲ 警告 | 0 | ご自身での修理、改造、分解は行わないでください。やけど、火災や感 |
|------|---|----------------------------------|
| | | 電の原因になります。特に電源ユニット内部は高電圧の部品が数多くあ |
| | | り、さわると危険です。 |
| | 0 | 周辺機器の増設や接続は、電源プラグをコンセントから抜きすべてのケ |
| | | ーブル類をシステム装置から外してください。システム装置内では、本 |
| | | 体の電源を切っても電源プラグを抜かないと一部の回路には通電して |
| | | いるため、作業時の思わぬ接触などで感電によるけがや故障の原因にな |
| | | ります。 |

3. 使い方に関するご注意

| ▲ 警告 | 0 | 機器の内部にクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電の |
|------|---|-----------------------------------|
| | | 原因になります。クリップなどの異物が機器の内部に入った場合は、ま |
| | | ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、弊社もしくは販売会 |
| | | 社にご相談ください。 |
| | 0 | 機器の上に花びん、植木鉢、コップなどを置かないでください。水分が |
| | | こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。水分がこ |
| | | ぼれた場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、弊 |
| | | 社もしくは販売会社に相談ください。 |
| | 0 | 機器を改造しないでください。火災や感電の原因になります。 |
| | | 電源プラグを製品やコンセントから抜く時は、電源ケーブルを引っ張ら |
| | | ないでください。電源ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。 |
| | | 必ず電源プラグを持って抜いてください。 |
| | 0 | 石油類、マニキュア、除光液などの揮発性の液体は、システム装置の近 |
| | | くで使わないでください。システム装置の中に入って引火すると火災の |
| | | 原因となります。 |
| | 0 | 振動や衝撃を与えないでください。部品に悪い影響を与え、故障の原因 |
| | | になります。システム装置は振動や衝撃に敏感です。 |
| | | 電源ケーブルは必ず本製品の付属品をご使用ください。また、以下のこ |
| | | とに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると皮膜のめくれや断 |
| | | 線・ショートなどにより、感電や過熱・火災の原因になります。 |
| | | ・ 物を載せない |
| | | ・ 引っ張らない |
| | | ・ 押し付けない |
| | | ・ 折り曲げない |
| | | ・ 加工しない |
| | | ・ 熱器具のそばで使わない |
| | | ・ 束ねない |
| | | 付属の電源ケーブルは本製品専用です。他の機器には転用しないで下さ |
| | | い。 |

4. 万一異常が発生したら、次のように処置してください。

| ▲ 警告 | 煙が発生する、変な音がするなどの異常が発生した場合は、電源スイッ |
|------|------------------------------------|
| | チを切って、電源プラグを抜いてから、弊社もしくは販売会社にご連絡 |
| | ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。 |
| | ファンが故障した場合は、ただちにシステムを停止させ電源を OFF に |
| | してください。そのまま使用すると、内部発熱により他の部品の故障、 |
| | 火災等の原因となることがあります。 |

5. その他のご注意

| ▲ 警告 | | システム装置の製品寿命期間以上使用される場合は、構成部品の交換が |
|------|---|-----------------------------------|
| | | 必要となります。そのまま使用すると、電解液の漏れや枯渇により発煙、 |
| | | 発火、感電の原因になります。また、システム装置の故障原因にもなり |
| | | ます。 |
| | 0 | 本システム装置には、設定値をバックアップするために電池を使用して |
| | | います。次のようなことは行わないでください。取り扱いを誤ると電池 |
| | | の過熱・破裂・発火・液漏れなどでけがをしたり、発煙・発火の原因に |
| | | なります。 |
| | | 分解 |
| | | ・ 100℃以上に過熱 |
| | | 電池を保管する場合は、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてくだ |
| | | さい。絶縁状態にしないで、保管すると、端子間どうしが接触ショート |
| | | した場合、過熱・破裂・発火などでけがをしたり、火災の原因になりま |
| | | す。 |

第1章 各機器の接続について

1. 接続全体図

A. 複数の PC で可視化ツールを見る場合



B. 社内 LAN に接続して可視化ツールを見る場合



C. 1台の PC で可視化ツールを見る場合



- D. 無線 LAN につながった PC で可視化ツールを見る場合

- ※1 お客様でご用意ください。
- ※2 社内 LAN や各種 LAN への接続はシステム管理者にお問い合わせください。
- ※3 お客様でご用意頂いたルーターの説明書をご覧ください。社内 LAN の無線アクセス ポイントへの接続の場合はシステム管理者にお問い合わせください。

【重要】各種ネットワークへの接続について (システム管理者向け)

■ 各種ネットワークへの接続の際は以下のマニュアルをご参照ください。 IoT ゲートウェイ – OpenBlocks IoT 搭載ソフトウェア FW4 ドキュメント https://docs.plathome.co.jp/docs/openblocks/fw4/webui/first/first

IoT 専用サーバー – OpenBlocks IDM ドキュメント https://docs.plathome.co.jp/docs/idm/rx1/

■ IoT 専用サーバー及び IoT ゲートウェイのパスワードについて IoT 専用サーバー及び IoT ゲートウェイの Web ユーザーインターフェイスの 管理者パスワードは以下のように設定されています。

ユーザー名: root

パスワード: OBSIOT

最初のログイン後、必ずパスワードを変更してください。設定方法は各製品の マニュアルをご参照ください。

2. 各機器の接続

1. IoT ゲートウェイと IoT 専用サーバーとの接続

IoT ゲートウェイに同梱されている AC アダプターを IoT ゲートウェイ本体に装着します。



AC アダプターの電源プラグ部分をコンセントに差します。 IoT ゲートウェイは自動的に ON になり、電源ランプ(STATUS)が点灯します。



IoT 専用サーバーに同梱されている電顕ケーブルを本体に接続し、電源プラグをコンセント に差し込みます。



IoT ゲートウェイの「eth0」と記載のポートに Ethernet ケーブルを接続します。



Ethernet ケーブルの反対側を IoT 専用サーバーの「eth0」ポート (6 つあるポートの上部 中央)に差します。



2. IoT 専用サーバーと PC との接続

Ethernet ケーブルを IoT 専用サーバーの eth1 ポート(6 つあるポートの下部中央)に差します。



使用する際にはIoT専用サーバーの電源ケーブル横(AC-IN)の電源供給スイッチをONにします。



PC1 台で本パッケージを利用する場合は、Ethernet ケーブルの反対側を PC に差します。



複数台の PC で使用する場合は、Ethernet ケーブルの反対側をスイッチングハブやルーターに 接続します。接続するポートなど詳細はお持ちのスイッチングハブやルーターの説明書をお読み ください。

社内 LAN に接続する場合の接続方法は、システム管理者にお問い合わせください。

3. ワイヤレス在室検知センサーと IoT ゲートウェイとの接続

在室検知センサーと IoT ゲートウェイでの無線接続は出荷時に設定していますので、 IoT ゲートウェイが ON になった際に無線接続は確立します。

第2章 各機器の名称および設置について

1. ワイヤレス在室検知センサー

1.1. 各部の名称・設置について

ワイヤレス在室検知センサーについての各部名称や取り付け・設置方法につきましては在 室検知センサーのマニュアルをご参照ください。

オプテックス CPI-J マニュアル

https://navi.optex.net/manual/09001/5925144_CPI_J_MANUAL.pdf

2. IoT 専用サーバー

2.1. 各部の名称

・前面パネル

電源スイッチ(POWER)



本パッケージでは 1000BASE-T 端子(イーサネットポート)及び電源スイッチのみ 使用致します。

システム操作ボタンの機能

| 名称 | 機能 |
|-------|---|
| POWER | システム装置の電源を ON/OFF する時に押します。 短押しで安全な |
| | 電源 OFF、長押しで強制電源 OFF します。 強制電源 OFF をアプリケ |
| | ーションの処理中に行うとデータが消失する可能性があります。 |

【重要】POWER ボタンについて

裏面パネルの電源供給スイッチは強制電源断になり、システムが正常終了せずに強制的 に電源が切れます。通常のシステム終了の際の電源オフは前面パネルの POWER ボタン をご使用ください。

状態表示ランプの意味

| 名称 | 機能 |
|--------------|-----------------------------------|
| ETH-2/3 (左側) | 消灯 : ネットワークに接続されていません。 |
| (ポート内ランプ) | 橙色点灯:ネットワークに接続されています。 |
| | 橙色点滅:ネットワークに接続されアクセスしています。 |
| ETH-0/1 (右側) | 消灯 : 10Mbps ネットワークに接続されているかネットワーク |
| (ポート内ランプ) | に接続されていません。 |
| | 緑色点灯:100Mbps ネットワークに接続されています。 |
| | 橙色点灯:1000Mbps ネットワークに接続されています。 |
| STAT | ソフトウェアでの制御設定が必要です。本装置では使用出来ません。 |

・背面パネル



AC-IN 端子に電源ケーブルを接続します。

【重要】電源供給スイッチについて 電源供給スイッチは強制電源断になります。通常の電源オフは前面パネルの電源スイッ チをご使用ください。



AC-INの下の穴に同梱のクランプを差し込み、 背面パネルの画像のように電源ケーブルを固定します。

2.2. 設置作業時のご注意

以下の環境に設置してください。

周囲温度 動作時:-20℃~50℃

周囲湿度 動作時: 20~80%Rh(結露なきこと)

⚠警告

- ・ 転倒のおそれがあります。縦置きでは使用しないでください。
- ・ 極端に高温、低温の場所、または温度変化が激しい場所では使用しないでください。また湿度が極端に高い場所では使用しないでください。
- · 室内温度が極端に暑い、もしくは寒い場合は、空調などを使用し室温が一定になってか らご使用ください。
- ・ 直射日光の当たる場所や、ストーブなど発熱する器具の近くでは使用しないでください。

▲注意

- IoT 専用サーバーの上に、ディスプレイ装置を置かないでください。ディスプレイ装置 が落下したり、システム装置が転倒したりして、けがの原因になります。
- システム装置の通気孔をふさがないでください。火災の原因になります。風通しの良い
 ところに、壁から通気孔は15cm以上離して設置してください。
- ・ 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気のあたる場所に置かないでください。火災、感電の原因になります。

2.3. 電源取り扱い上のご注意

システム装置用の電源として以下の仕様の電源を用意してください。 AC アダプターは製品に同梱されているものをご使用ください。 個々の機器は電源コンセントからあまり離さないように設置してください。

- ●電圧 100V±5V(50Hz/60Hz)
- ●コンセント 2極接地(第3種接地)、15A (アース端子付きのもの)



▶ 電源の瞬時電圧低下対策について

◎システム装置を使用する場所の近くで落雷が発生したり、電源の供給状態が悪い場合は使用中に瞬時停電や電圧低下が発生し、システム装置が停止することがあります。このときは、 一度システム装置の電源を OFF にし再起動してください。

◎電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。(社団法人日本電子工業振興協会パーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)。

<u>▲</u>警告

- AC100V を超える AC200V などのコンセントに接続しないでください。火災、感電の 原因になります。
- ・ 電源ケーブルに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。ケーブルの被覆が傷つき、火災、感電の原因になります。
- 通路に電源ケーブルをはわせないでください。人がつまずくなど、けがの原因になります。

▲注意

・ 電源ケーブルを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。電源プラグ をコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

3. IoT ゲートウェイ

3.1. 各部の名称



- ① USB シリアルコンソールポート
- ② 専用 AC アダプタ入力
- ③ RS-485 (半二重)コネクタ
- ④ イーサネットポート(100BASE-T)
- ⑤ スタータスインジケーター(7 色、点灯・点滅で状態を表します。
- ⑥ パワースイッチ1
- ⑦ FUNC スイッチ1
- ⑧ USB ホストモードポート

- ⑨ RS-232Cポート
- ⑩ ステータスインジケーター(⑤と同機能)
- 11 パワースイッチ2(パワースイッチ1と同機能)
- ② FUNCスイッチ2(FUNCスイッチ1と同機能)
- 13 ワイドレンジ電源入力

※本パッケージでは、④イーサネットポートのみを使用します。

3.2. ステータスインジケーターの表示

状態表示の意味

| 名称 | 機能 | |
|--------|-----|----------------------|
| STATUS | 黄点灯 | : OS 起動中、またはシャットダウン中 |
| | 緑点滅 | :動作中 |

3.3. 設置作業時のご注意

以下の環境でご使用ください

周囲温度 動作時: 0℃~+40℃

周囲湿度 動作時:20~80%Rh(結露なきこと)

▲警告

- ・ 転倒のおそれがあります。縦置きでは使用しないでください。
- ・ 極端に高温、低温の場所、または温度変化が激しい場所では使用しないでください。また湿度が極端に高い場所では使用しないでください。
- ・ 室内温度が極端に暑い、もしくは寒い場合は、空調などを使用し室温が一定になってからご使用ください。
- ・ 直射日光の当たる場所や、ストーブなど発熱する器具の近くでは使用しないでください。

▲注意

- IoT ゲートウェイの上に、ディスプレイ装置などのモノを置かないでください。落下したり、転倒したりして、けがの原因になります。
- システム装置の通気孔をふさがないでください。火災の原因になります。風通しの良い
 ところに、壁から通気孔は 15cm 以上離して設置してください。
- ・ 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気のあたる場所に置かないでください。火災、感電の原因になります。

3.3. 電源取り扱い上のご注意

システム用の電源として以下の仕様の電源を用意してください。

●電圧: 100V±5V(50Hz/60Hz)

AC アダプターは製品に同梱されているものをご使用ください。

システム装置用の電源として以下の仕様の電源を用意してください。

個々の機器は電源コンセントからあまり離さないように設置してください。

▶ 電源の瞬時電圧低下対策について

 ◎システム装置を使用する場所の近くで落雷が発生したり、電源の供給状態が悪い場合 は使用中に瞬時停電や電圧低下が発生し、システム装置が停止することがあります。このときは、一度システム装置の電源をOFF にし再起動してください。
 ◎電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。(社団法人日本電子工業振興協会パーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)。

▲警告

- AC100V を超える AC200V などのコンセントに接続しないでください。火災、感電の 原因になります。
- ・ 電源ケーブルに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。ケーブルの被覆が傷つき、火災、感電の原因になります。
- 通路に電源ケーブルをはわせないでください。人がつまずくなど、けがの原因になります。

第3章 在室管理システムパッケージの使用

1. IoT 専用サーバーの電源を ON にする

IoT 専用サーバーの背面にある電源供給スイッチを ON にします。IoT 専用サーバーが起動します。

▲注意

- ・電源を入れる順序は、IoT ゲートウェイを ON にしてから IoT 専用サーバーの電源を ON にしてください。
- ・短時間での電源の ON/OFF はシステム装置に悪影響を与えることがあります。
 - システム装置の電源を OFF 後、再度電源を投入する場合、記録装置等への負担を 避けるため 30 秒以上経過してから電源スイッチを ON してください。
 - 電源ケーブルをコンセントから抜いた場合、再接続は1分以上経過してから行って ください。
- ・システム装置の起動時に不要な操作はしないでください。エラーメッセージが表示 される場合があります。

2. 可視化ツール「RealBoard」にアクセスする

接続した PC を起動し WEB ブラウザを開き、以下のアドレスへアクセスします。

https://192.168.110.110:880/realboard3/

可視化ツール「RealBoard」のログイン画面が表示されます。

| RealBoard - RealBoard × + | | ∨ – ⊡ × |
|---|---------------------------|-------------|
| \leftrightarrow \rightarrow C $($ in idmdemo.plathome.co.jp/Account/Login?ReturnUrl=%2P | %3FdisableRedirect%3Dtrue | \varTheta 🕫 |
| | RealBoard | |
| | ユーザー名 | |
| | パスワード | |
| | ログイン | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

「RealBoard」にシステム管理者としてログインします。初期設定では以下のように設定されています。

ユーザー名: root パスワード: 0BSI0T

※「0」は数字の「0」です。

ログインができましたら、トップページ画面の「在室管理システムパッケージ」のダッシ ュボードをクリックします。

| IDM 報意 × + | ✓ - □ > |
|--|---------|
| ← → ℃ 🔒 idmdemo.plathome.co.jp/?disableRedirect=true | • ۲۵۴ |
| ■ New IDM DEMO | A (B) |
| トップページ 編集 | |
| 在室管理システムパッケージ Debboard 「「「「「」」」 「「「「」」」」 「「「」」」」 「「」」」」 「」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 」」 | |

※ センサーの個数などご注文内容によって上記と外観が異なる場合があります。

クリックすると本パッケージのメイン画面である「在室管理システムパッケージ」のダッ シュボード画面が表示され、現在の各センサーが認識している状態が表示されます。



※ 上記はセンサーを3個設置した場合の画面です。ご注文内容によって上記と外観が異なる場合があります。

① メニューボタン

保存されているダッシュボードやCSV エクスポートなど RealBoard の各種機能へのメニューが表示されます。

② 編集ボタン

こちらより「在室管理システムパッケージ」のダッシュボードが編集できます。

本パッケージ出荷時からカスタマイズする場合は、次章に記載の「RealBoard ダッシュボ ードユーザーマニュアル」をご参照の上操作を行ってください。

第4章 CSV エクスポート機能

RealBoard では取得したデータを CSV ファイル形式でエクスポートすることができます。 エクスポートした CSV ファイルを使って、表計算ソフトなどで過去の稼働状況などを閲覧 したり、分析したりすることができます。

画面左上のメニューボタンをクリックします。



メニューが開きますので、「CSV エクスポート」をクリックします。



「時系列データ CSV エクスポート」画面が表示されます。右上にメッセージが表示されますが、そのまま待てば消えます。「ファイル出力履歴」の下に、以前に CSV エクスポートを行ったことがあれば、履歴が表示されます。

「CSV エクスポート」をクリックします。

| New IDM DEMO × + | | | v - |
|--|---------------|------------|--|
| ← → C | IsvExportJobs | | |
| ■ New IDM DEMO | | | |
| 時系列データ CSV エクスポート CSV エクスポート コレクション一覧 | | | ページを読み込み中です。 |
| ファイル出力履歴 発行日 状態 名 | 前 ZIP ファイル | ・ ボイント数 詳細 | ページの読み込みが完了しました。 0件のファイル出力が発行済みです。 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

接続されたセンサー(ポイントと呼びます)の一覧が表示されますので、ダウンロードしたい センサーにチェックを入れ、「集計」の欄で「全て」を選択し、「ファイル出力開始」のボ タンを押します。期間の指定も可能です。



選択したセンサー(ポイント名)が表示されますので、「開始」ボタンをクリックします。



「CSV ファイル出力を開始しました」というメッセージの後、

「CSV ファイル出力を完了しました」というメッセージが表示されましたら、CSV ファイルのダウンロード準備が完了となり、CSV エクスポートのトップ画面からダウンロードできる状態になります。

| ■ New ID | DM DEMO III | | ▲ @- |
|------------------------|--|--|------|
| 与系列デー | -タ CSV エクスポート | | Î |
| コレクション | | CSVファイル出力を開始しました。 | |
| | | この処理には時間がかかります。しばらくお社 ちゃださい。 | 8 |
| 明闇とホイン | 下を選択してくたさい | | |
| 期間 開始 2022 | 204/01 00:00 単計 選択 全て > | | |
| 終了 2022 | 204/02 00:00 時間 時 > 1 つの表に出力 | 00/2 - / III + 5 - 2 - 4 - 5 | |
| 名前でフィル | 9 | CS ノデイル面力を売了しました。 ファイルをダウンロード可能です。 | |
| IDでフィルタ | | | |
| 選択 解除 | 選択中のポイント 1 件 | | _ |
| ☑ 数值 | 状況 (CPI-J) | /ex1demo4idm/05002E4A/pirs | |
| □ 数值 | 供給電圧 (CPI-J) | /ex1demc4idm/05002E4A/svc | |
| | 808.079-4 | And Contraction (1997) All Strates | |
| | PROBEE COPD-1 | Ben Toler und der 1939 BERTING | |
| 0 | 70/172-80 (Mal) | Jan Talen unkan (101 MAR) 10 Santary | |
| | All manual and a second s | ter Takin under 101 m/d 101 under | |
| 新業 | XEE many | Jan Sannahah (19 Auto) Transportation | |
| | (| An Talen of an Edit Market Trace | |
| | 17/00 (AMP##10277) | An Tampakan sakat Nakat Tahun | |
| | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | | |
| | mak parametriker army | ter fam under ruhaffikasiet frage | |
| | | An "Amountain cathathanni thann | |
| | NE SHREET: Y | ter færsskars af at Malet Tyresaus | |
| CT MALAA | The second se | the later of the l | |

CSV ファイルをダウンロードする為に CSV エクスポートのトップ画面に戻ります。

メニューから CSV エクスポートをクリックします。

| Rew IDM DEMO | × + | | |
|---|------------------------------|--|---------------|
| ← → C ≜ idmdemo.plat | home.co.jp/CsvExportJobs | | □ () % |
| New IDM DEMO | × | | |
| Hen IDIN DEMO | | | |
| □ ダッシュボード | - ト | | |
| | | | |
| 画 チャートリスト | | | |
| 9 タグマップ | | | |
| | 2月20 今7 11 | | |
| 冊 グリッド | | | |
| ● ポイントー覧 | P#10 01 2 1 2 の表に出力 | | |
| | | | |
| ▲ CSVエクスポート | | | |
| ま 画像エクスポート | | | |
| | | | |
| | | /ex1demo4ldm/05002E4A/pirs | î |
| | | /exidemo4idm/03002E4A/svc | |
| | | | |
| | | and appropriate CET and CET affects | |
| | | Territory and the second second | |
| | | the Transmission of the Add Transmission | |
| | | No. 1 dama Automatical Material Transal | |
| | | Part and a second se | |
| | | And the second | |
| | | y the second construction | |
| | | ter famolian unter faitheath use | |
| | | | |
| | | And the control of the Charles from you along | |
| | and the second second second | 1 | |
| | 91000998E: 360049 REC 6 | | |
| AL STALL | | | |
| nttps://idmdemo.plathome.co.jp/CsvExpor | Uobs | | |

「ファイル出力履歴」に先ほど出力したデータが表示されますので、「ダウンロード」をク リックすれば CSV ファイルが Zip ファイル形式でダウンロードされ、CSV エクスポート完 了です。Zip ファイルを解凍してデータをご利用ください。

| | iemo.plathome | e.co.jp/CsvExporUc | bs | | | | • 0 [•] |
|-------------------|---------------|--------------------|---|------------------|--------------|-----------------|-------------------------|
| New IDW DEF | WO III | | | | | | |
| 系列データ CS | V エクスオ | ポート | | | | | |
| iV エクスボート | コレクション | ~一覧 | | | | | |
| イル出力履歴 | | | | | | | |
| 〒日 | 状態 | 名前 | | 710 7 7 4 1 | 11 × 5 × 1 m | | |
| | | -1409 | | 21F 77-172 | 4-1 × F100 | BENE | |
| 22/04/01 06:43:58 | 売7 | <i>₹−\$</i> (202) | 2年04月01日00時00分~~2022年04月02日00時00分) | ダウンロード | 1 | 詳細 表示 | |
| 22/04/01 06:43:58 | 売7 | データ (202 | 2#64,月01日00%00分~2022#64,月02日00%00分) | ダウンロード | 1 | 詳細 表示 | |
| 22/04/01 06:43:58 | 元 7 | <i>∓−\$</i> (202) | 38048901800900000-202280489280099000000 | ダウンロード ダウンロード | 4-1 2 FBX | 穿細 表示 | |
| 12/04/01 06:43:58 | R 7 | <i>τ</i> −9 (202 | (#644)018004009)-2022#644)0280049059) | ダウンロード ダウンロード | 1 1 | 译相 | |
| 12/04/01 06:43:58 | | <i>τ−9</i> (202 | 28004/R018004009-2022804/R028004/R0299 | 900-F | 1 1 | 译相 表示 | |

第5章 製品マニュアルについて

各製品の詳細な操作マニュアルは以下よりダウンロードしてお使いください。

1. ワイヤレス在室検知センサー

オプテックス CPI-J マニュアル

https://navi.optex.net/manual/09001/5925144_CPI_J_MANUAL.pdf

2. IoT 専用サーバー

OpenBlocks IDM ドキュメント https://docs.plathome.co.jp/docs/idm/rx1/

・ユーザーズガイド

本 IoT 専用サーバーおよび可視化ツール「RealBoard」の初期セットアップ方法について 記載しています。

・RealBoard システム管理ユーザーマニュアル RealBoard のシステム管理者設定、ユーザー設定の方法について記載しています。

・RealBoard ポイントユーザーマニュアル センサーなどの登録方法について記載しています。

・RealBoard ダッシュボードユーザーマニュアル ダッシュボードの作成・編集について記載しています。

・RealBoard チャートユーザーマニュアル

センサーから取り込んだデータのグラフやチャートを作成する方法を記載しています。

・RealBoard マップユーザーマニュアル

ビーコンなどを組み合わせて、モノやヒトの所在管理システム用ダッシュボード(マップ) を作成する方法を記載しています。

3. IoT ゲートウェイ

OpenBlocks IoT 搭載ソフトウェア FW4 ドキュメント https://docs.plathome.co.jp/docs/openblocks/fw4/webui/first/first

製品保証について

本パッケージの製品保証はパッケージに含まれる各製品の保証規定に準じます。また有償 で保守サポートサービスもご提供していますので、詳しくは各製品のマニュアルをご参照 頂くか、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

本製品に関するお問い合わせ

本パッケージの動作に異常がある場合は弊社保守部門までご連絡ください。

◆ お問い合わせ窓口
 月曜~金曜(祝祭日、年末年始を除く) 9:30~12:00, 13:00~18:00
 電子メールアドレス: support@plathome.co.jp
 ※頂いたメールは出来る限り迅速にお返事できるように致しますが、休業日や受信タイ
 ミングの関係で数日お待ち頂くことがございます。

◆ 製品のご返送先
 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F
 ぷらっとホーム(株) 製品保守課 宛

- 注意事項
- このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の
 一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。
- ・ 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、正確を期するように努めていますが誤り等に起因する結果について は責任を負いかねます。
- 本製品を運用した結果については事項に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了 承ください。

- ご購入いただきましたシステム装置は、一般事務用を意図して設計・製造されています。生命財産に著しく影響するような高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。
 -高信頼性を必要とする用途の例-
 - ・化学プラントや発電所等の制御に関わる応用
 - ・医学機器制御等、生命維持に関わる応用

※詳しくは同梱されている各製品の保証書・保証規定をご覧ください。

このような使用における万一の事故に対し、弊社は一切の責任を負いません。

- 他社の商標および登録商標について
- ・ 'Intel'、'Atom'は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ・ 'Linux'は Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- ・ 'Microsoft、 Windows、 Windows ロゴ'は米国 Microsoft Corp. の米国及びその他の国 における登録商標です。
- ・ Windows の正式名称は Microsoft® Windows® Operating System です。

OpenBlocks 使用許諾契約

この契約は、お客様とぷらっとホーム株式会社(以下、当社とします。)との間に締結される契約です。お 客様がこの契約に同意できない場合には、本体未開封のまま本製品および付属品一式をご購入先まで返品 ください。

第1条 定義

本契約における使用許諾の範囲は、当社製品「OpenBlocks シリーズ」付属の管理ツールをいい、WUI(ウ ェブ・ユーザー・インターフェース)ソフトウェア製品(以下、本ソフトウェア製品とします。)および取 り扱い説明書などの付属資料一式が対象となります。

本契約において「知的財産権」とは、特許権(特許出願権を含む)著作権、ノウハウその他一切の知的創作物に対する権利または法律上の利益をいいます。

第2条 使用許諾

お客様は、本契約の全項目に合意することを条件として、本ソフトウェア製品を、契約対象のハードウェ アにおいて使用することが出来ます。

第3条 禁止事項

お客様は以下のことを行うことはできません。

A) 本ソフトウェア製品の複製・再配布・再許諾

B) 契約対象のハードウェア以外の本ソフトウェア製品の導入

C) 本ソフトウェア製品の全部もしくは一部を修正、改変、翻訳、翻案し、またはこれらに基づいて二次的 著作物を創作すること。

D) 逆コンパイル、逆アセンブルその他ソース・コードおよび基礎となるアイデアもしくはアルゴリズムの 解析、再構築もしくは発見を試みること。

第4条 知的財産権の帰属

本ソフトウェア製品に対する知的財産権の一切は、当社に帰属します。ただし、本契約書第5条に記載の オープンソースまたは公開されているソフトウェアの著作権は、個々のプログラムの権利者に帰属します。

第5条 オープンソースソフトウェア

本ソフトウェア製品の一部にはオープンソースまたは公開されているソフトウェアが含まれています。お 客様は本ソフトウェア製品に含まれるオープンソースまたは公開されているソフトウェアの別途定める使 用許諾条件(またはライセンス要件・オープンソースライセンスなど)に同意するものとします。

第6条 責任の範囲

当社は、個別契約書に明示的に記載された場合を除き、「現状有姿のまま」で本ソフトウェア製品を提供し

ます。当社は本ソフトウェア製品の品質および機能がお客様の使用目的に適合することを保証するもので はなく、当社は本ソフトウェア製品についての一切の瑕疵担保責任および保証責任は負いません 当社は、本ソフトウェア製品の使用または使用不能から発生した、直接的、間接的、派生的、偶発的等、 いかなる損害に対しても、一切責任を負わないものとします。たとえ当社がかかる損害の可能性について 知らされていた場合も同様です。また、当社が損害賠償責任を負う事になった場合であっても、当社の損 害賠償責任は、その理由を問わず、本ソフトウェア製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とし ます。

第7条 譲渡

お客様は、本契約に基づく権利または義務を第三者に譲渡することはできません。

第8条 変更

当社はお客様への事前の通知およびその承認なしに本契約書の内容を変更できるものとします。この場合、 本契約書の各内容は変更後の内容によるものとします。なお、変更後の本契約書については、当社ホーム ページ等により開示するものとします。

第9条 有効期間

本契約の有効期間は、当社が別途有効期間を定めた場合を除き、お客様が本ソフトウェア製品を使用した時からお客様が本ソフトウェア製品の使用を停止するまでとします。

第10条 契約の解除

お客様が本契約に違反した場合、当社は本契約を解除する事ができます。この場合、お客様は本ソフトウ ェア製品を一切使用する事が出来ないものとします。また、解除による返金には応じられません。

第11条 その他

本契約に関しては日本法に準拠するものとします。

本契約に関して訴訟による解決が必要な場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

ソフトウェア使用許諾契約書

製品名:RealBoard

プロンプト・K株式会社(以下「弊社」と記載します)は、お客様に、本ソフトウェア「RealBoard」(以下「本ソフトウェア」と記載します)を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。 第1条 (著作権)本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当な ライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条

約によって保護されています。

第2条 (権利の許諾)お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを使用する、非独占的な権利 を本契約に基づき取得します。お客様は、指定のコンピュータにインストールされている本ソフトウェア のみを使用することができます。

第3条 (制限事項)

(1)お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コン パイルまたは逆アセンブル、その他ソースコード解明を試みることはできません。

(2) お客様は、本契約に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。

(3) お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除 去することはできません。

(4) お客様は、本ソフトウェアを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることは一切できません。

(5) お客様は、本ソフトウェアを使用して、第三者にサービス及び何らかの電子的機能を提供すること は一切できません。また、第三者ではない、特定多数に対してサービス及び何らかの電子的機能を提供す る場合、弊社に事前に通告のうえ、別途の使用許諾契約を結ぶ必要があります。

(6)本ソフトウェアを利用するにあたり、犯罪に結びつく行為、公序良俗に反する行為、法令に反する 行為またはそのおそれのある行為は厳重にお控え下さい。

(7)本ソフトウェアを利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法 上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が 複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている 等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著 作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような 利用方法は厳重にお控え下さい。

(8)本ソフトウェアにおいて写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は 厳重にお控え下さい。また、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますの で、そのような利用方法も厳重にお控え下さい。 第4条 (免責)弊社は、ソフトウェアに関連してお客様が受けられた損害について、一切の責任を負いま せん。ただし、弊社に帰責事由がある場合はこの限りではありません。

第5条 (契約期間)

(1)本契約は、本ソフトウェアの使用を始めたとき発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。

(2) お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らかの通知、催告を 行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社はお客様の違反によって被った 損害をお客様に請求することができます。

第6条 (協議事項)本契約に定めない事項または、本契約に疑義が生じた事項については、その都度別途協議の上、解決するものとします。

第7条 (準拠法及び合意管轄)本契約の成立、効力、履行および解釈に関しては、日本国法が適用され、 本契約から生じる紛争については日本国の裁判所の裁判管轄権に服するものとします。

以上

鹿児島県鹿児島市荒田1丁目4-14 丸田ビル202号 プロンプト・K株式会社 代表取締役 岩倉路和

2022 年 1 月 初版 無断転載を禁止します 落丁・乱丁の場合はお取替えいたします

在室管理システムパッケージ スタートアップマニュアル PH20220401

発行日: 2022 年 4 月 発行者: ぷらっとホーム株式会社 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F